



一般社団法人 福岡県建築士事務所協会

TEL:092-473-7673 FAX:092-473-7278

<https://www.f-aa.jp> E-mail : info@f-aa.jp

目次 -Contents-

1	建築設計競技の結果報告	2
2	会議のご報告	10
3	マロニエBIM設計コンペティション2021 実施報告	15
4	令和3年度 九州・沖縄設計4団体懇談会報告	18
5	建築倶楽部BIM推進協議会 令和3年度総会関係報告	19
6	令和3年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議報告	21
7	各支部・地域会よりお知らせ	22
8	役員さんの徒然雑記	31

1

福岡県内高等学校生並びに専門学校生による 建築設計競技 結果報告

令和3年度 福岡県内の高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技が開催されました。今年は高等学校の部6校より計69作品、専門学校の一部4校より計85作品のご応募を頂き、審査会にて選ばれた知事賞、他入賞者の表彰式が11月4日に行われました。

また令和3年11月29日～12月3日には福岡市役所 1階市民ロビーにおいて作品の展示会を開催致しました。

経 過

- 令和3年 5月28日 ……関係校へ課題を通知、応募期限を9月30日とする
 9月30日 ……提出校、高等学校の部6校69作品、専門学校の一部4校85作品
 10月4日 ……応募作品の課題条件の適合について予備審査を実施
 10月7日 ……審査員が集合し本審査開催、得点方式にて受賞候補作品を選出し、議論を重ねた結果各賞が決定
 11月4日 ……コミュニティのおがた小ホールにおいて表彰式を開催
 11月4日 ……コミュニティのおがた2階会議室において作品展示会を開催
 11月29日～12月3日 ……福岡市役所 1階市民ロビーにおいて作品展示会を開催

審査委員名

- 【審査委員長】西岡 弘 西日本工業大学建築学科 客員教授
- 福岡県建築都市部長 ●福岡県教育長 ●北九州市建築都市局長 ●福岡市住宅都市局長、
- (一財)福岡県建築住宅センター理事長 ●(公社)福岡県建築士会会長 ●(公社)日本建築家協会九州支部長、
- (一社)福岡県建築士事務所協会会長

協 賛

- (一財)福岡県建築住宅センター

後 援

- 福岡県 ●福岡県教育委員会 ●北九州市 ●福岡市
- (公社)福岡県建築士会 ●(公社)日本建築家協会九州支部

参加者の皆さまへの御礼

今年度の建築設計競技の応募数は、高等学校の部で69作品、専門学校の一部で85作品と、いずれも昨年以上を上回る応募をいただき、主催者側を代表して関係者の皆様に心より御礼申し上げます。

今年度は「辻」を共通のテーマに、敷地は自らが選定し建築の課題においても建物の用途から考えるという新たな試みがなされました。高等学校の部では、住宅は限定しましたが他の用途を併用するかは自らの判断に委ね、専門学校の一部に至っては、建物の用途そのものを学生が考えるというこれまでにない自由な条件下での思考は大変だったかと思えます。

建築設計で最も必要とされるのは想像力です。その力をこの課題を通して少しでも身につけてほしいという願いもあつての課題設定でしたが、例年以上に個性に溢れた多種多様な作品が応募され、私たち主催者の期待を大きく上回る見応えのある審査会となりました。

これもひとえに先生方の熱心なご指導の賜物と改めて敬意を表すると共に、来年度以降も引き続き建築設計競技にご協力を賜りますよう切にお願い申し上げます。

最後に、審査委員長の西岡先生をはじめ、ご支援をいただきました関係諸庁、各団体の皆様に心より感謝申し上げます。

(一社)福岡県建築士事務所協会 教育・研修委員会
委員長 松山 将勝

計画趣旨

四辻、四つ角、交差点、T字路、三辻、三叉路、Y字路、かつて辻は現世（この世）と他界（あの世）との境界のように考えられていました。今生の別れにもなりかねない困難な昔の長旅にあっては、縁者との別れを惜しむ場であり亡くなった人の魂を送る場でもありました。又、妖怪が出没する魔界とされ、現実にも辻斬り、追いはぎが出没する物騒な場所で鎮魂の辻説法も立ちました。辻堂の地名があるように、このような場所には賽の神や道祖神が祭られ祠（ほこら）が建てられたのです。沖縄奄美地方の街路を歩くと、今でも辻の交点にあたる場所に「石敢當」と彫られた魔除けの小さな石碑を至る所で散見出来ます。

今日でも交差点は悲惨な交通事故が多発し、家相では凶相の場所とされ建築的にも敷地や建物の角（隅）入りは余り好ましくないと言います。異才の画家横尾忠則にY字路を描いた一連の風景画がありますが、彼が三叉路に特別な感慨を持ったからに他なりません。今でこそ地図やカーナビが有るので容易に目的地にたどり着けますが、昔は四辻三辻でどちらの道を選ぶかで運命が左右される程の大事だったわけです。

みちしるべがないと大変な事になります。みちしるべ（道標）の語源は、山道で迷わないように枝を折るシ・ホル（おる）→枝（シ）折→標（しるす、小枝の意味）→葉と繋がります。葉も本のどこまでを読んだかの指標です。つまり辻はその周辺の指標であり周辺イメージを代弁する場でもあるのです。

現代では地価高騰により住宅の敷地が狭小化し、角地は建蔽率が10パーセント割増しになる事、日照条件や商業利用可能などから一般的には資産価値は高いとされますが、車の暴走侵入への危惧、通行人からのプライバシーの面や騒音、車の出入りに特に注意が必要等住環境はもとより商環境としても必ずしも望ましい場所とは言えないようです。又、日本の官民含めたセクショナリズム、縄張り意識からか電柱、信号機柱、電話柱、カーブミラー、道路標示、照明、環境汚染測定器、防犯監視カメラ、交差点名などがバラバラに検討設置され、美観を求めたはずの電線地中埋設区域でも余り美しく整備されていきません。特に交差点にはそれらが集中しこの弊害が顕著に表れています。

車社会の交差点と昔の辻では規模も数も異なりますが、今も昔も良くも悪くもスピリチュアルな場所なのです。何故交差点でなく辻としたかと言いますと、交差点は即物的言葉ですが、より歴史や環境を制作過程で考える事を求めて敢えて意味深長且つ会意明瞭な国字の辻としたのです。尚、必ず選んだ辻の写真を添付してください。



計画趣旨

辻（交差点）の規模及び周辺環境によっては店舗（業種不問）併用住宅でも可とします。その場合面積関係は延床面積の限度を100㎡増しまで可とします。車は最低1台は停められる事。簡単に述べれば「角地に住む」ですが、共通テーマ文を参考に、安易にコンクリート塀で囲って安全やプライバシーを図りましたと言った事ではなく建築的環境の解決を図った案を求めます。概ね6m未満の歩道、信号機のない交差点の道路にまわりつく敷地とします。選んだ角地の方位によって日照やプライバシー、辻全体の印象などから家の在り方を考えてください。必ずしも空地でなくても適地と判断した敷地で既存の建物を建て替える形でも良しとします。敷地の隅切については各自の計画の中で判断して下さい。



計画条件

■ 1) 敷地

- 面積……………概ね300㎡以内の角地。
- 用途地域……………指定なし。
- 接道条件……………概ね6m未満の歩道、信号機のない交差点の道路にまわりつく敷地とする。
- その他……………上下水道完備、受電は前面道路から、前面道路と敷地の高低差なし。
駐車スペースは、乗用車最低1台を確保する。

■ 2) 建物

- 面積……………住居のみの場合延床面積120㎡以下。辻（交差点）の規模及び周辺環境によっては店舗（業種不問）併用住宅でも可とする。その場合面積関係は延床面積の限度を100㎡増しまで可とする。
- 構造……………自由、3階建て以内。
- その他……………高齢者、車椅子対応などについては、教育内容進捗状況に基づき、建築基準法も考慮し適宜廊下幅を決め、斜路等を設置する。
建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

■ 3) 提出図面

- 用紙……………当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容……………
 - ・ **設計主旨** 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。（タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要かを考える事。）
 - ・ **配置図** 縮尺は問わないが、計画地がどれだけの面積を利用し、どのように公道に面しているかが判るような図として提出の事。
 - ・ **平面図** (1/100～1/200)
 - ・ **立面図** (1/100～1/200)
 - ・ **断面図** (1/100～1/200) 平面図に切断箇所を記入の事。
- ※上記縮尺は原則であり、設計建物の建築面積などから所定用紙に合わせて縮尺を変えて良い。
 - ・ 外観パース（模型写真を添付する事は可とするがパースに代替することは不可。）
 - ・ 設定敷地が判る地図及び周辺も含めた敷地写真（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
- ※手書き図面の場合、写真は敷地写真、模型写真も含め画像をパソコンに取り込み普通紙でプリントアウトしたものを貼ることが望ましい。写真の厚みのある光沢印画紙ではそれだけが表現上浮いてしまうからです。
- 条件……………必ず手書きとする。CGは不可、但し文字数字については、印字シート貼り等可とする。模型写真の添付や着色は自由。図面には面積表（必ずしも枠取りする必要なし）、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。
※与条件は必ず守ること。与条件以外は自由に判断する事。



計画趣旨

高齢社会も念頭に休憩スペース（屋外も可）は必ず設置そのほかは自由とします。多角的実証的知見から共通テーマ文を熟考し、敷地の公（トイレ、集会所、広場等）私（住宅を除く店舗、事務所、等）の別を自身で設定し用途を考えてください。選んだ交差点を手掛かりにこうした交差点はこのような姿が望ましいと考え計画してください。

辻には場所のサイン性も求められます。必ず立ち止まり、休憩、方向確認等次の行為の接続点になることです。計画施設規模との関係から片側1車線以下の道路（信号機、歩道の有無は不問）の交差点にある敷地とします。必ずしも空地でなく建て替え等でもよしとします。駐車スペースは設定した用途施設から適宜判断して対応する事。

計画においては計画する敷地（部分）と辻（全体）を考えて計画を立ててください。



計画条件

■ 1) 敷地

- 面積……1000㎡以内の角地。
- 用途地域……指定なし。
- 接道条件……片側1車線以下の道路（信号機、歩道の有無は不問）の交差点にある敷地とする。
- その他……上下水道は完備し受電は前面道路から可能と仮定する。敷地の高低差は具体的な選択敷地による。駐車スペースは設定した用途施設から適宜判断して対応する事。

■ 2) 建物

- 面積……延床面積600㎡以内。
- 構造……構造、階数は自由。
- その他……EV設置、段差解消など高齢者利用に対応できるように配慮する。建蔽率、容積率については特に問わない。その他の法規制は適用しない。

■ 3) 提出図面

- 用紙……当協会配布のケント紙（B2サイズ）一枚を使用し横使いとするが、サイズが同じであれば応募者で準備した用紙でも可。
- 提出内容……
 - ・ **設計主旨** 課題にふさわしいイメージを膨らませるタイトルを付けるとともに設計コンセプトを明確に表現する事。（タイトル文字は必要以上に目立たせる事はない。何が表現として重要かを考える事。）
 - ・ **配置図** 縮尺は問わないが、計画地がどれだけの面積を利用し、どのように公道に面しているかが判るような図として提出の事。
 - ・ **平面図** (1/200～1/300)
 - ・ **立面図** (1/200～1/300)
 - ・ **断面図** (1/200～1/300) 平面図に切断箇所を記入の事
- ※上記縮尺は原則であり、設計建物の建築面積などから所定用紙に合わせて縮尺を変えて良い。
 - ・ 外観パース（CG、模型写真に代えることも可。）
 - （通り側から見たアングル等コンセプトが判るように。）
 - ・ 設定敷地が判る地図及び周辺も含めた敷地写真。（敢えてこれに言及するのは、建築が他のデザイン領域と異なり地面に固定されているということです。それ故建築は敷地環境から多くの影響を受け、また影響も与えアイデアもそこから多く生まれるからです。）
 - ※手書き図面の場合、写真は敷地写真、模型写真も含め画像をパソコンに取り込み普通紙でプリントアウトしたものを貼ることが望ましい。写真の厚みのある光沢印画紙ではそれだけが表現上浮いてしまうからです。
- 条件……CGも可とする。模型写真の添付や着色は自由。図面には面積表（必ずしも枠取りする必要なし）、方位、縮尺、寸法及び寸法引き出し線、室名を正しく記入する事。
- ※与条件は必ず守る事。与条件以外のことは自由に判断する事。



応募総数・入選者一覧

高等学校の部

応募校と 応募数

有明工業高等専門学校（1年～3年）	作品数	45作品
浮羽工業高等学校	〃	5作品
田川科学技術高等学校	〃	1作品
戸畑工業高等学校	〃	5作品
博多工業高等学校	〃	8作品
福岡工業高等学校	〃	5作品
計	6校	69作品

個人賞

●知事賞	有明工業高等専門学校	3年	加賀田 梨李香
●福岡県教育委員会賞	福岡工業高等学校	3年	吉富 美代
●（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞	有明工業高等専門学校	3年	有田 光玖
●会長賞	浮羽工業高等学校	3年	長谷部 大河
●（公社）福岡県建築士会会長賞	浮羽工業高等学校	3年	遠藤 壮太
●（公社）日本建築家協会九州支部支部長賞	有明工業高等専門学校	3年	井上 塔子
●優秀賞	浮羽工業高等学校	3年	依田 鈴香
〃	有明工業高等専門学校	3年	久保 陽愛
〃	有明工業高等専門学校	3年	星子 元
●佳作	有明工業高等専門学校	3年	荒木 康汰
〃	有明工業高等専門学校	3年	高本 桜太
●奨励賞	戸畑工業高等学校	3年	坂本 蓮
〃	田川科学技術高等学校	3年	山口 岳斗
〃	博多工業高等学校	3年	東島 稜芽
〃	有明工業高等専門学校	3年	村上 そら

※敬称略/順不同

団体賞

有明工業高等専門学校

専門学校の部

応募校と 応募数

麻生建築&デザイン専門学校	作品数	57作品
九州職業能力開発大学校	〃	6作品
福岡建設専門学校	〃	12作品
福岡デザイン専門学校	〃	10作品
計	4校	85作品

個人賞

●知事賞	福岡建設専門学校	2年	丸田 亨
●福岡県教育委員会賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	山本 夏瑠
●（一財）福岡県建築住宅センター理事長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	宮崎 浩彰
●会長賞	九州職業能力開発大学校	2年	福富 岬
●（公社）福岡県建築士会会長賞	麻生建築&デザイン専門学校	1年	前田 優一
●（公社）日本建築家協会九州支部支部長賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	遠藤 太陽
●優秀賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	堤野 敬太
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	平岡 樹弥
〃	福岡デザイン専門学校	2年	雲 聖惟
●佳作	九州職業能力開発大学校	2年	伊藤 ゆかり
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	篠原 琴穂
〃	麻生建築&デザイン専門学校	1年	劉 詩芸
●奨励賞	麻生建築&デザイン専門学校	2年	西牟田 竜太
〃	麻生建築&デザイン専門学校	2年	八城 瑞己
〃	麻生建築&デザイン専門学校	1年	田中 俊
〃	麻生建築&デザイン専門学校	1年	手嶋 仁志

※敬称略/順不同

団体賞

麻生建築&デザイン専門学校

共通テーマ 『辻』

高等学校の部 課題：『辻に住まう』

専門学校の部 課題：『辻に憩う』

昨年に続き今年もコロナ禍での開催になりました。WEB授業などでは細かい部分が把握しにくく、指導にあたられた先生方も大変だったろうと推察いたします。それでも例年と変わりなく、又応募数も同程度の作品があり関係者一同感謝している次第です。私が出題者となってからは共通テーマを掲げ、それぞれ高等学校、専門学校に分けて課題を作っておりますが、共通テーマの中で広く知見を集め、検討の上課題に取り組んで欲しいとの思いからいろいろな視点から書いているのですが、共通テーマ文の興味を引いた部分に意識が集中する傾向にあります。今回の課題で述べると、辻＝交差点＝角地に建てられる建物の基本的留意事項、つまり車の出入り難、危険、プライバシー、サイン性及び一般的接道への対策が希薄になってしまったようです。次回は課題要綱の文章作成や出前講義などで工夫したいと思っています。ただ「ギャラリー併設の住宅の計画」あるいは「地方に建つ小美術館」という課題の出し方ですと、参考凡例も多く平準化やプレゼンテーション力の差に埋没する恐れもあり、通常の授業での習得から一步踏み込んだ高みを目指してもらいたいという期待を込めての課題になっております。従って多少難しく感じられるかもしれませんがご理解いただければと思います。

高等学校の部 総評

設計製図課題には正解はありません。良し悪しの判断には一般的セオリーはありますが、最終的には作る側も審査する側も判断する目を育てる事が大事になります。これは建築に限らずいろいろな領域で審美眼判断力を育てるといことです。それには良いとされている作品をいろいろ見るなどして自身の眼を育てるしかありません。これは日常的に建築設計に携わっていない人でもできる事で、それが結果に表れます。10人の審査員のうち日常的に建築設計に携わっていない人が半分くらいですが、審査の中でこれは少し違うのではという結果にはなりません。今年の6つの冠賞を例に挙げると、概ね3グループくらいの点数の塊になり、各グループ間の点差は2、3点、グループ内の2作品の点数の開きは1、2点です。それ程評価は集約されてくるということです。

専門学校の部 総評

今年もCGを駆使したビジュアルで目を引く作品の応募がありました。このプレゼンテーション能力は、実際の仕事の上で発注者＝施主に自身の考えを伝え説得する上で大事なツールです。それぞれの学校での授業方針もありましょうが、設計の中身が同じ程度であれば目を引き見栄えのする方へ仕事は持っていかれます。計画力と共に表現力も合わせてご指導願いたいと思います。麻生建築&デザイン専門学校の遠藤太陽君は昨年佳作入選でしたが、今年リベンジされ見事(公社)日本建築家協会九州支部支部長賞を獲得しました。低学年で応募しその反省に立ってのリベンジは大変力を付けると思います。各先生方大変でしょうがご検討をいただけたらと思います。限られた時間を有効に使い、限られた一枚の画面を最大限に利用する事です。プレゼンテーションについては講評や出前講義などでもしばしば述べております。作品集の秀作や各作品の講評をよく読んで参考にさせていただければと思います。

知事賞

有明工業高等専門学校

3年 加賀田 梨李香



講評

敷地の選択、そこから組み立てられたコンセプト、建築的処理、説明文どれをとっても秀逸で申し分ありません。辻→立札(掲示板)→公(足跡)→フリースペース→角地配慮と言った組み立て、町屋の長い敷地→建物内に道を作る→道路とのアナロジーという今回の課題との整合性等見事です。着色などもセーブが効いていて、手書き制作図面として好感が持てます。



受賞者コメント

この度は知事賞をいただきましてありがとうございました。
今回のテーマである「辻に住まう」という課題に対して建物を創るにあたり「辻」という言葉の意味はもちろん、選んだ八女の土地を深く調べ、辻としての展開を考えました。
この建築設計競技に取り組むことで計画する上での改善点が沢山見つかりました。
今後もさらに学びを深め、スキルアップをしていきたいです。

有明工業高等専門学校 加賀田 梨李香

知事賞

福岡建設専門学校

2年 丸田 亨



講評

敷地の選択と解析、コンセプトの組み立て、用途の妥当性、形態の処理、機能分析ダイアグラム等すべてに神経が行き届き密度も高く極めて秀作です。ここまでできる方なので敢えて言及するのですが、「外観のデザインに方位と階層によって表情を変えるデザイン」として立面図を描いていますが、現実にはある面で止まっている以外は最低2面は見えるわけで、現実には雑然とします。わざと雑然さをデザインの中心に据えるなら平面の作り方形態から違ってきます。この規模と計画の進め方形態ならばやはり統一感が大事でしょう。開口部の扱い屋根の処理等、最近の良い作品を見て検討してください。

受賞者コメント

コロナ禍の中、この機会を設けて頂いた主催者様、ご指導頂いた皆様に感謝申し上げます。

敷地選定段階から様々な考察が必要な難しい課題でしたが、馴れ親しんだ地元の交差点を選定したことで、検討に熱が入り思い入れのある作品となりました。この名誉ある賞を頂いたことをきっかけに、更に多くの建築作品に触れて参ります。



福岡建設専門学校 丸田亨

令和3年度第7回常任理事会報告

日時 令和3年10月12日(火) 13:00～14:00

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 会長、副会長、常任理事、支部長、事務局14名参加

議題

1. 協議事項

- [1]第3回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2]事務所登録等事務アンケート依頼について
- [3]令和4年度スケジュールについて

2. その他

- [1]次回会議日程について

令和3年度第3回理事会報告

日時 令和3年10月12日(火) 14:00～15:45

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 理事会構成者数及び出席者数 理事会構成者数 24名
出席者数 22名

- 理事会の定足数報告
- 会長挨拶
- 議長選出
- 前回議事録の確認
- 表彰者紹介

議題

1. 審議事項

- [1]新入会員の承認、退会会員の報告

2. 協議事項

- [1]令和3年度建築士事務所キャンペーンについて
- [2]令和3年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技審査結果について
- [3]支部統合について
- [4]令和4・5年度役員候補者の推薦手順と選任方法について
 - ① 会長選考の方法と手順について
 - ② 理事の選出の方法と手順について
- [5]令和3年8月豪雨会員被害状況確認とその対応について
- [6]和みの会参加対象者への記念品贈呈について

3. 報告事項

■ [1] 県本部関係報告

- ① 第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)、青年話創会2021熊本大会中止及び延期について
- ② 令和4年春の叙勲・褒章候補者の推薦について
- ③ マロニエBIM設計コンペティション2021進捗状況について
- ④ Revit実務に向けた基礎知識講習会実施状況報告
- ⑤ 建築倶楽部BIM推進協議会総会・部会の開催について
- ⑥ 令和3年度単体会組織強化支援事業の実施について
- ⑦ 福岡市感染症対応シティ促進事業支援業務について
- ⑧ 法定講習(建築士定期講習・管理建築士講習)実施計画、実施報告について
- ⑨ 適合証明技術者登録及び講習申込状況について
- ⑩ 既存住宅状況調査技術者講習申込状況について
- ⑪ 特定建築物定期調査業務「スキルアップ講習」の開催について
- ⑫ 震災復旧のための被災度区分講習の開催について
- ⑬ 省エネ講習会の実施について
- ⑭ 公共建築の調査・設計業務委託におけるダンピング対策に関する研修会参加について
- ⑮ BIMポータルサイトへの事務所情報掲載募集周知のご協力依頼
- ⑯ 九州設計4団体懇談会開催報告
- ⑰ 事務局職員について
- ⑱ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- ⑲ 年間スケジュール

■ [2] 支部・地域会報告

・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部、大牟田支部

■ [3] 日事連関係報告

- ① 令和3年9月通常理事会開催報告
- ② 教育・情報委員会開催報告
- ③ 総務・財務委員会開催報告

4. その他

■ [1] 次回理事会開催日程について

令和3年度第8回常任理事会報告

日時 令和3年11月9日(火) 14:00～15:45

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局12名参加

議題

1. 協議事項

- [1] 令和4年度通常総会日程、会場について
- [2] 組織改革について
 - ① 支部合併について
- [3] 令和4・5年度役員候補者の推薦手順と選任方法について
- [4] 令和3年度中間監査実施について
- [5] 合同委員会の開催について
- [6] 建築倶楽部BIM推進協議会総会及び各部会開催について
- [7] 令和3年度単位会組織強化支援事業申請について
- [8] 特定建築物定期調査業務「スキルアップ講習」の開催について
- [9] 震災復旧のための被災度区分講習の開催について
- [10] 省エネ講習会の実施について
- [11] 公共建築の調査・設計業務委託におけるダンピング対策に関する研修会開催について
- [12] 九州・沖縄ブロック協議会 令和3年度第1回会長会議開催について
- [13] 会誌「日事連」令和4年1月号掲載「新年の抱負」執筆者選定について
- [14] 事務局関係について
- [15] アンケート調査のお願いについて

2. 報告事項

- [1] 令和3年度建築士事務所キャンペーン開催報告
- [2] マロニエBIM設計コンペティション2021について
- [3] Revit実務に向けた基礎知識講習会実施状況報告
- [4] 福岡市緊急経済対策における感染症対応シティ促進事業実施報告
- [5] 法定講習(建築士定期講習・管理建築士講習)実施計画、実施報告
- [6] 適合証明技術者業務申請・講習申込状況報告
- [7] 既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新)申込状況報告
- [8] 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- [9] 日事連青年部会連絡会議開催報告
- [10] 日事連BIMSWG開催報告

3. その他

- [1] 次回会議日程について

令和3年度第9回常任理事会報告

日時 令和3年12月14日(火) 13:30～14:45

会場 ZoomによるWeb会議

出席者 会長、副会長、常任理事、事務局14名参加

議題

1. 協議事項

- [1]第4回理事会の進行、説明担当者、議題の確認
- [2]令和4年行政、関係団体新年挨拶廻りの実施について
- [3]令和4年秋の叙勲・褒章及び建設事業関係功労者表彰候補者の推薦について
- [4]事務局職員への退職金支給について
- [5]事務局職員新規募集について
- [6]建築士事務所登録等のオンライン化について(国交省より各都道府県建築士法担当者あて)
- [7]国交省パブリックコメントの開始について(社会資本整備審議会 建築環境部会・建築基準制度部会)
- [8]福岡地域会、北九州支部賛助会会員(株)建築資料研究社・日建学院との特別学費適用についての覚書締結について
- [9]令和4年度九州・沖縄ブロック協議会通常総会、青年部会協議会日程、会場について
- [10]業界新聞令和4年新春特集号広告協賛のお願いについて
- [11]事務局冬季休暇について
- [12]第9回被災者支援制度研究会開催について

2. その他

- [1]次回会議日程について

令和3年度第4回理事会報告

日時 令和3年12月14日(火) 15:00～17:00

会場 ZoomによるWeb会議

出席者	理事会構成者数及び出席者数	理事会構成者数	24名
		出席者数	22名

- 理事会の定足数報告
- 会長挨拶
- 議長選出

議題

1. 審議事項

- [1]新入会員の承認、退会会員の報告

2. 協議事項

- [1]令和3年度上半期会務・事業報告
- [2]令和3年度上半期収支報告
- [3]令和3年度中間監査報告
- [4]組織改革について
 - ① 支部合併について
- [5]令和4・5年度役員候補者の推薦手順と選任方法について

3. 報告事項

■〔1〕県本部関係報告

- ① 令和4年度通常総会日程、会場について
- ② 令和3年度建築士事務所キャンペーン開催結果報告
- ③ 福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技表彰式、展示会開催報告
- ④ 合同委員会開催報告
- ⑤ マロニエBIM設計コンペティション2021公開審査開催報告
- ⑥ 建築倶楽部BIM推進協議会総会及び各部会開催報告
- ⑦ Revit実務に向けた基礎知識講習会実施報告及び九州・沖縄ブロックでの開催について
- ⑧ 令和3年度単体会組織強化支援事業審査結果について
- ⑨ 公共建築の調査・設計業務委託におけるダンプ対策に関する研修会参加報告
- ⑩ 女性部会役員について
- ⑪ 法定講習(建築士定期講習・管理建築士講習)実施計画、実施報告
- ⑫ 適合証明技術者業務申請・講習実施報告
- ⑬ 既存住宅状況調査技術者講習(新規・更新)申込状況報告
- ⑭ 震災復旧のための被災度区分講習の開催について
- ⑮ 省エネ講習会に向けての講師講習の実施について
- ⑯ 要除却認定調査実務者講習の実施について
- ⑰ 福岡市緊急経済対策における感染症対応シティ促進事業実施報告
- ⑱ 令和3年度研修ツアーの実施について
- ⑲ メールマガジン「建築福岡Quarterly」への寄稿のお願い
- ⑳ 構造計算適合性判定に関する意見交換会参加報告
- ㉑ 福岡県気候風土適応住宅の運用基準検討会議参加報告
- ㉒ 福岡県建築登録センター受付件数、売上報告
- ㉓ 年間スケジュール

■〔2〕支部・地域会報告

・北九州支部、筑豊支部、福岡地域会、県南支部、大牟田支部

■〔3〕日事連九州・沖縄ブロック協議会関係報告

- ① 令和3年度九州・沖縄ブロック協議会会長会議参加報告

■〔4〕日事連関係報告

- ① 日事連全国会長会議・建築士事務所政経フォーラム開催報告
- ② 12月通常理事会開催報告
- ③ 総務・財務委員会開催報告
- ④ 創立60周年事業における「分科会」委員について
- ⑤ BIMと情報環境SWG開催報告

4. その他

■〔1〕次回理事会開催日程について

3

マロニエBIM設計コンペティション2021実施報告

1. 経 過

本コンペティションは、2015年に（一社）栃木県建築士事務所協会が主催にて関東地域の建築を学ぶ学生のBIM技能向上を目指して始まりました。その後、参加者の枠を全国の学生及び実務者に拡大しました。今年度からは国土交通省の国庫補助事業として（一社）日本建築士事務所協会連合会が主催となり、今回においては福岡県、熊本県と栃木県の地域を超えた運営協力により開催することとなりました。

今回のコンペティションは、建築におけるBIMの活用により社会へ貢献できることを建築業界内だけでなく、一般の方に広めることを目的とし、出身や所属に関係なく幅広く募集しています。

2. 開催概要

当コンペは、今年度より国庫補助事業となり、担当会として（一社）福岡県建築士事務所協会、サポートを（一社）栃木県建築士事務所協会、（一社）熊本県建築士事務所協会に担当頂きました。課題敷地は、熊本地震で甚大な被害を受け、復興の最中にある熊本県上益城郡益城町と定め、三会一丸となって運営・開催されたところです。また、本年度のコンペティションでは、建築分野におけるBIMの活用により社会へ貢献する姿勢を、一般の方へメッセージとして打ち出すことを視野に入れました。

今回は、社会的な問題意識と注目度の高い、被災地の復興と持続性のあるまちづくりの視点を明確に持つ熊本県益城町にご協力をいただきました。こうした重要な社会的課題を解決する新しい手段としてのBIMの可能性を示すとともに、そこに取り組む専門家としての努力と技能を評価する機会にすることを考え、「熊本県益城町のまちづくり活動にBIMデータを役立てる方法を考える」ことをテーマとしています。したがって本コンペティションで参加者に期待したのは、実体としての建築的デザインだけではありません。その建築と同じように将来も活用し続けることができるBIMデータの持つ利点を考えることを重要な技術的視点としました。

結果的に、社会の役に立ち、十分な実現性があり、そして美しさも兼ね備えた提案が集まりました。最終的には、合計30作品の提案が提出され、その中から1次審査にて9作品が選ばれ、11月26日（金）に最終公開審査がなされ、各賞が決定しました。

3. 主 催

一般社団法人 日本建築士事務所協会連合会

4. 事業担当

一般社団法人 福岡県建築士事務所協会、一般社団法人 栃木県建築士事務所協会、一般社団法人 熊本県建築士事務所協会

5. 後 援

国土交通省、熊本県、益城町、（公社）日本建築士会連合会、（公社）日本建築家協会、（一社）日本建築学会、建築情報学会

6. 協 賛

- ・特別協賛
（株）建築資料研究社／日建学院、（株）総合資格、グラフィソフトジャパン（株）
- ・協賛
福井コンピュータアーキテクト（株）、AUTODESK（株）、エーアンドエー（株）

7. 応募条件（※チームでの参加も可。）

学 生：一級建築士の受験資格要件に定められた学校に在籍する学生
社会人：建築士事務所の所属

8. エントリー及び作品提出方法

WEB サイト及び専用サーバー

9. エントリー受付

令和3年10月～11月8日まで

10. コンペ実施期間

コンペ期間：令和3年11月1日～11月10日

一次審査通過者発表：令和3年11月20日

二次審査（公開審査）：令和3年11月26日

11. 課 題

益城町木山蛭子町のまちづくりに貢献するBIM

12. 対象敷地

熊本県上益城郡益城町木山蛭子町

13. 審査委員等

審査委員長

堀場 弘 シーラカンスK&H(株)代表取締役、東京都市大学教授

コーディネーター・審査委員

池田 靖史 慶應義塾大学教授、IKDS主宰

審査委員（順不同、敬称略）

西田 司 (株)オンデザインパートナーズ代表、東京理科大学准教授

大西 康伸 熊本大学大学院准教授

佐野 吉彦 (一社)日本建築士事務所協会連合会理事・BIMと情報環境WG主査

岩本 茂美 (一社)福岡県建築士事務所協会会長

佐々木宏幸 (一社)栃木県建築士事務所協会会長

南 孝雄 (一社)熊本県建築士事務所協会会長



14. 開催形式

最終公開審査会場：審査委員は本会場に集合し、二次審査当日のプレゼンテーションはリモートで実施。

日時・場所 令和3年11月26日（金）公開審査〈リモートによる開催〉

本会場 熊本ホテルキャッスル 熊本市中央区城東町4-2

一次審査：データをWEBで受付、リモート審査。

15. 実施結果

・ エントリー者数：学生 33名 社会人 12名 合計 45名
 ・ 提出作品数：学生 21作品 社会人 9作品 合計 30作品

16. 受賞者一覧

ホームページをご参照ください マロニエ BIM 設計 コンペティション2021 で検索

【最優秀賞のご紹介】

榊原 崇文 様（社会人:株式会社安井建築設計事務所）

作品名：-Link Unit-

-Link Unit-

●益城町木山の「想い」が場をつくる
 木山神宮の参道が昔は絶好の遊び場だった。窓から眺める木山の風景が好き。散歩中に撮り取る木山のベンチが欲しい。まちは新しい場が生まれるきっかけとなる。その場所ならではの想いで溢れている。

BIMによる、いつでも・だれでも編集できる「木山Omni Map」と「想い」を自在に空間化する「Link Unit」を通して、まちな新しい土着性を生む。

情報 (Information) を三次元化する (Modeling) 対象は建物に限らない。定量化できない変数である感性をも情報化することで BIM の可能性の拡張を試みた。

●木山の過去から現在、未来をつなぐピン
 「木山Omni Map」には、町民や役所の方々、設計者や施工者など、町に関係する人々が自ら自由に想いをプロットしていく。各話も可能な三次元空間の中で様々なきっかけが生まれる。

過去 現在 未来

●ピンから生まれるまちの新しい価値
 空間を共有することで専門家・町民の関係性はより密接に絡み合い、みんなで「みんなのまち」を作り出す価値を生む。

かたち 専門家 空間 想い 町民

●「か」から「かたち」を共有するシステム
 全ての関係者がフラットに、同時に意見交換を行うことによって最適な高い「か」「かたち」が生まれ、まちの「かたち」に繋がる。

Phase 1 コンストラクト Phase 2 アイデア Phase 3 共有

●何にでもなれる「空間の素」Link Unit
 「想い」をかたちにするため、汎用性が高く、何にでもなれる空間の単位を考えた。人の活動が生まれる場を折上げることで「あちら」と「こちら」が生まれる。さらに折り上げることで風通しを確保する空間が生まれる。空間の出来上がり方に着目したユニットの組合せが無限の可能性を生む。

●専門家と町民をつなぐ BIM
 ユニットの組合せにより、多様な空間を住民自身がつくれるよう Link Unit の 3D ファミリーを作成。方向転換とコピー、大きさの入れかみの単純な操作で多様な空間を生み出すシステムを構築。住民それぞれが望む空間を思い、思いにつくることにより、設計者の想定を超えた空間が生まれる可能性を含んでいる。

●木山のまちづくり拠点 - 木山 Link Base -
 木山 Link Base を AR で観よう！

4

令和3年度 九州・沖縄設計4団体懇談会報告

◆ 日時

令和3年10月4日（月） 14:00～17:00

◆ 会場

オンラインにて開催

◆ 出席者

（公社）日本建築士会連合会
 （一社）日本建築士事務所協会連合会、
 （公社）日本建築家協会、
 （一社）日本建築構造技術者協会
 の各単位会、支部、地域会の34団体より
 53名参加

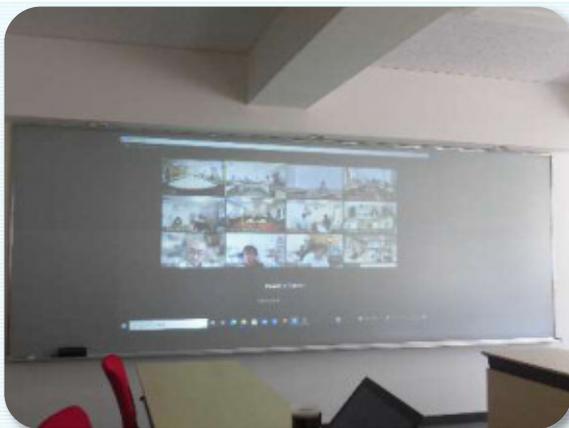


◆ 司会進行

松山 将勝（JIA九州支部長）

◆ 懇親会次第

1. 九州・沖縄設計4団体災害ネットワークワーキンググループからの提案
 【ワーキンググループ長・JIA九州支部災害対策委員長 原田 展幸】
2. 省エネ法 気候風土適応住宅について
 【福岡県建築士会・宮崎県設計4団体・沖縄県建築士会】
3. BIM推進について【福岡県建築士事務所協会】
4. コロナ禍における事務所運営について【熊本県建築士事務所協会】
5. 告示98号の改正について【鹿児島県建築士事務所協会】
6. 低入札防止に関する各県の取り組みについて【福岡県建築士事務所協会】
7. 若手技術者の育成と速やかな世代交代について【熊本県建築士事務所協会】
8. 新型コロナ状況下での会の活動・取り組みについて【宮崎県設計4団体】
9. 北部九州で発生した水害や各県の状況について【宮崎県設計4団体】
10. その他



建築倶楽部B I M推進協議会 令和3年度総会関係報告

◆ 日 時 令和3年11月15日（月） 14：00～16：50

◆ 会 場 舞鶴D Sビル なごみA会議室

システム部会

◎ 出席者

- （公社）福岡県建築士会福岡地域会
- （一社）福岡県建築士事務所協会
- （公社）日本建築家協会九州支部
- （公社）日本建築家協会九州支部福岡地域会
- （一社）日本建築構造技術者協会九州支部
- （一社）福岡県設備設計事務所協会
- （公社）日本建築積算協会九州支部
- （一社）日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部

◎ 次 第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 前回議事録の確認
5. 議事
 - （1）役員選出 会長1名・副会長1名、部会長1名、副部会長1名
 - （2）過去1年間の活動報告
 - （3）今後1年間の活動計画
 - （4）設計段階のB I M総合データ（意匠・構造・設備）を作成する際の課題抽出および解決
6. 報告事項
 - （1）国土交通省建築B I M推進会議等で公開されている情報
7. その他
8. 閉会

技術部会

◎ 出席者

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| (公社) 福岡県建築士会福岡地域会 | (一社) 福岡県建築士事務所協会 |
| (公社) 日本建築家協会九州支部 | (公社) 日本建築家協会九州支部福岡地域会 |
| (一社) 日本建築構造技術者協会九州支部 | (一社) 福岡県設備設計事務所協会 |
| (公社) 日本建築積算協会九州支部 | |
| (一社) 日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部 | |

◎ 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 前回議事録の確認
5. 議事
 - (1) 過去1年間の活動報告
 - (2) 今後1年間の活動計画案
6. 報告事項
 - (1) 事業実施報告
7. その他
8. 閉会

実務部会

◎ 出席者

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| (公社) 福岡県建築士会福岡地域会 | (一社) 福岡県建築士事務所協会 |
| (公社) 日本建築家協会九州支部 | (公社) 日本建築家協会九州支部福岡地域会 |
| (一社) 日本建築構造技術者協会九州支部 | (一社) 福岡県設備設計事務所協会 |
| (公社) 日本建築積算協会九州支部 | |
| (一社) 日本コンストラクション・マネジメント協会九州支部 | |

◎ 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 委員の紹介
4. 前回議事録の確認
5. 議事
 - (1) 過去1年間の活動報告
 - (2) 今後1年間の活動計画案
6. 報告事項
 - (1) 設計事務所福岡設計業務共同企業体の取り組み
7. その他
8. 閉会

令和3年度 日事連九州・沖縄ブロック協議会第1回会長会議報告

- ◆ **日時** 令和3年11月18日（木）午後2時00分～午後4時30分
- ◆ **会場** 各单位会（オンライン会議）
- ◆ **出席者** 福岡会 岩本 茂美 会長、西 洋一 副会長、早田 倫明 副会長、松澤 徹 副会長、
小西 満洋 事務長
佐賀会 7名、長崎会 3名、熊本会 2名、大分会 7名、宮崎会 2名、
鹿児島会 7名、沖縄会 5名
- ◆ **議 事**
1. BIM推進普及について……………【福岡会】
 2. CM業務の取組みについて……………【福岡会】
 3. 日事連単位会組織強化支援事業等について……………【福岡会】
 4. 建築設備設計者不足について……………【長崎会】
 5. 新業務報酬基準の告示に向けての準備について……………【熊本会】
 6. BIMの講習会の予定について……………【熊本会】
 7. 第44回建築士事務所全国大会(熊本大会)について……………【熊本会】
 8. 本年度の九州・沖縄ブロック設計4団体懇談会についての意見及び
次年度の進め方について……………【熊本会】
 9. 情報提供／国土交通省告示第98号の改正状況について……………【鹿児島会】
 10. 県営団地、県立高校設計委託業務における面積低減について……………【沖縄会】
 11. 設計意図伝達業務の取り扱いについて……………【沖縄会】
 12. 最低制限価格の引上げにかかる調査について……………【沖縄会】
 13. BIM推進普及について……………【佐賀会】
 14. 県における建築設計と設備設計の分離発注について……………【鹿児島会】

北九州支部からのお知らせ

令和3年度 第3回 定例幹事会次第

日 時 令和3年10月7日(木) 16:00～17:00

場 所 Zoomミーティング

参加者 幹事の皆さま

議 題

1. 令和3年度児童絵画展の進捗確認

応募数 32校833点 内訳：北九州市内25校787点、市外7校46点

◆ 10月7日(木) 最終選考
(1次審査にて各学年上位5着まで決定済みのため、公表のみ)

◆ 10月23(土) 表彰式
(10/7の1次審査会議で、対面表彰式を行うことになりました。)

表彰式のご協力人数を20名お願いします。
「調整さん」にてご協力の有無を確認します。

資料添付：児童絵画展式次第、準備するもの等



報告事項

1. 建築士事務所キャンペーン R3年11月4日(木)

内容 基調講演、高校生専門学校生建築設計表彰式、建築設計作品展示

場所 直方市ユメニティのおがた 福岡県直方市山部364-4 Tel: 0949-25-1007

北九州支部からの応援 5名(川野、服巻、山口、林、金子)

当日午前中集合、18時頃解散(時間の詳細は決まり次第連絡)

フライヤー内容決定

来賓、参加高校は10月中旬決定⇒席配置決め

横断幕看板は、10月中旬発注

資料添付: フライヤー、会場レイアウト

詳細打合せは、10/14(木) 11:00-13:00 筑豊支部・北九州支部・県本部合同打合せ

※対面によるキャンペーン開催の最終決定は、10/12に行う。対面を行わない場合は、昨年同様にリモート表彰式とする。基調講演の開催形式は別途協議。

2. 賛助会主催による勉強会や商品説明会(賛助会のPRの場として)

- ・ 6/10 (木) 17:00-18:00 エスケー化研 (CPD講習) 12名参加
- ・ 7/8 (木) 17:00-18:30 小松ウォール工業 (CPD講習) 10名参加
- ・ 9/9 (木) 17:00-18:00 ニチハ (CPD講習) 9名参加
- ・ 10/7 (木) 17:00-18:00 ケイミュー (CPD講習)

3. 退会届

9/27 福山ミツエー級建築士事務所

4. 情報共有・自由討議

5. 次回予定

筑豊支部からのお知らせ

令和3年度建築士事務所キャンペーン 開催報告

令和3年11月4日(木)、建築士事務所キャンペーンを直方市ユメシティにて開催しました。共通テーマ「新たな時代を築く建築士事務所協会」に加え、「筑豊には後世に残したい『遺産』がある」といったサブテーマを掲げました。

第一部では、熊本学園大学の講師、市原猛志先生をお招きし、「今こそ見直そう地域の産業遺産」と題して講演をしていただきました。まず、産業遺産とは幕末から昭和初期にかけての産業に関わる日本の豊かさを支えた建物をはじめとする様々な建造物であるということです。それが時代の変遷とともに忘れ去られ、なかには社会情勢のために重要なものにも関わらず解体、廃棄されたものも数多くあります。そしてその後、当時の技術や地域での歴史的な価値が再認識されたものが現存する産業遺産といえそうです。

筑豊地方は中世では穀倉地帯でしたが、その後炭鉱産業が盛んになり、その関連施設がつくられましたが現在では多くが解体されてきました。講演では、残された産業遺産というべき建物、嘉保劇場、伊藤伝右門邸などのいくつかが紹介されました。では、残されたこれらを将来に渡って保存、活用するにはどうすればいいかということになります。

筑豊においては、平成15年の飯塚市周辺の水害による被害とその後の復旧によって施設を活用する気運が高まりました。

これからは、これらの産業遺産を歴史資源として観光に活用することにより地域の活性化を進めることが必要だとのことでした。考え方の一つとして、その歴史資源を街並みや商店街と融合させて、「まちまるごと博物館」として活用するエコミュージアムという考えを各地の事例と共に紹介されました。私たち建築に携わるものとして地域のまちづくりにどう寄与できるかを考えるうえで大きな参考となりました。



第二部では福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技表彰式が実施されました。本年のテーマは「辻」。さらにサブテーマは高校生が「辻に住まう」、専門学校生は「辻に憩う」というもので、実際にある交差点や角地にちなんだ計画をするといったやや難解と思われるものでした。応募者の中からこれらの諸条件を踏まえた、素晴らしい作品が表彰されました。

表彰式の後、例年通り審査委員長から主だった作品への講評があり、その後前年から始まり好評だった4人の審査員の方による講評会が行われました。出席していた受賞者とのやり取りの中に称賛や激励、助言があり、また辛口の批評もありと学生にとっては大変意義ある機会になったのではないのでしょうか。そして、学生以外の実務に携わっている方にとっても刺激を受けたひとときとなったのではないかと思います。



なお授賞作品は、キャンペーン当日は直方ユメニティ2階会議室で展示され、11月29日から12月3日までは福岡市役所1階ロビーにて展示され、多くの観覧者に公開されました。

また、別会場で行われた懇親会では各支部はじめ、多くの関係者の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終わることができました。改めて心から感謝申し上げます。

《 報告 筑豊支部 支部長 岡松孝則 》



福岡地域会からのお知らせ

令和3年10月22日、第28回建築倶楽部 ゴルフコンペを開催致しました

去る10月22日(金)、福岡雷山ゴルフ倶楽部にて第28回 福岡建築倶楽部ゴルフコンペを開催いたしました。60名程の皆さまにご参加頂き、秋のゴルフ場にてプレイして頂きました。

2年ぶりとなるゴルフコンペでしたが天気にも恵まれ、皆さま感染症対策を徹底しながら思い思いに楽しんでいらっしゃいました。なお今回は表彰は行わず、上位者には受付にて商品をお渡しする形式とさせて頂きました。ご協力に感謝致します、ありがとうございました。



11月16日

● 第4回幹事会 12名出席：えーるピア久留米

1. 報告事項

- ① 県本会理事会報告
- ② 県南支部報告
 - 1) 令和3年度建築士事務所キャンペーン（直方）
 - 2) 建築士予定者との交流会（担当：広報・渉外委員会）
- ③ 各委員会報告

2. 協議事項

- ① 大牟田支部との合併について
- ② 賛助会員との懇親会について
 - ・ 懇親会については開催を承認
 - ・ 担当委員会は広報・渉外委員会
 - 事業委員会と総務財務委員会がサポートする

12月2日

● 第7回執行部会 9名出席：えーるピア久留米

1. 協議事項

- ① 大牟田支部との合併について
 - 大牟田支部：宗正支部長代理、水町監査
 - 県南支部：桜庭、横溝、林田、権藤、高嶋、中山、木村
 - 「合併申し込書」受領
 - 今後、合併への事務手続きを行い、合併開始日を令和4年4月1日とする。

12月4日

● 臨時幹事会（書面決議）

1. 協議事項

- ① 賛助会員との懇親会について事業計画書を承認
 - 日時：1月28日（金曜）18時30分～
 - 場所：翠香園

12月10日

● 臨時幹事会（書面決議）

1. 協議事項

- ① 大牟田支部との合併について「合併申し込書」、「合併承諾書」を承認
 - 大牟田支部へ「合併承諾書」を通知（12/13）

12月13日

● 講習会の開催

1. 協議事項

- 「久留米市市街化調整区域における開発許可制度の見直し等」についての講習会
 - 共同開催：協同組合久留米建築設計協会
 - 場所：えーるピア久留米210・211研修室
 - 開催時間：18：30～19：45
 - 講師：久留米市建築指導課原田氏
 - 参加者：20名

大牟田支部からのお知らせ

幹事会のご報告

R3年度 第7回

令和3年10月22日(金) 17:30~

場 所 事務局会議室

出席者 宗正、中野、永江、水町

■ 1. 協議事項

① 支部臨時総会について

期日：令和3年10月29日（金） 於：料亭「料亭一里」

○ 16:30~幹事集合

○ 17:00~ 臨時総会

司会：水町氏 議長：中野氏

署名人：永江氏

○ 18:00~ 懇親会

受付・会計：李氏 司会・開会のことば：中野氏

副支部長挨拶 来賓挨拶：会長

乾杯：永江氏 万歳三唱：賛助会員

閉会のことば：水町氏

○臨時総会来賓：岩本会長、早田副会長、小西事務局長

○懇親会来賓：岩本会長、西副会長、早田副会長、小西事務局長

②臨時総会議題

大牟田支部と県南支部合併の件

■ 2. 報告事項

①10月15日(金) ● 本部との意見交換会

・大牟田支部は地域会として残してはどうか？

・総会等を開く必要はない。

②その他

R3年度 第8回

令和3年11月29日(月) 17:30~

場 所 事務局会議室

出席者 宗正、中野、永江、水町

■ 1. 協議事項

① 大牟田支部と県南支部合併の件

・ 県南支部支への書類について

・ 大牟田支部会員への書類について

■ 2. 報告事項

①10月29日(金) ● 臨時総会

・ 議事：大牟田支部と県南支部合併の件

・ 出席者：8人(6人賛成、2人反対)

・ 委任状：7人

②その他

■ 1. 協議事項

①大牟田支部と県南支部合併の件

- ・ 県南支部の合併承諾書について
- ・ 大牟田支部会員、賛助会員名簿作成の要請について
- ・ 今後のスケジュール
 - 1/14 (金) 大牟田支部新年会
 - 2/4 (金) 仮決算(剰余金)大牟田支部
 - 2/8 (火) 大牟田支部剰余金仮決定
 - 3/31 (木) 県南支部決算、大牟田支部決算
 - 4/1 (金) 大牟田支部の剰余金を県南支部へ

②会長候補者について

③消防出初式：R4年1月9日(日) 9:30～

■ 2. 報告事項

①11月7日(日)

- 大牟田地域会について
 - ・ 参加者：永江氏、坂口氏、長野氏、李氏
 - ・ 設立について：する
 - ・ 地域会代表について：長野氏

②その他

8

役員さんの徒然雑記



理事 木村 昭文 さん

「エアシティ」ふくおか

九州の空のゲートである福岡空港。福岡空港は大きく変貌しようとしています。2019年に運営が民間化され、2020年に増築改修された国内線ターミナルが供用を開始しました。

新しい国内線ターミナルビルには様々な商業施設やクリニック、スポーツジム、二層にわたる展望デッキなどを備えたアミューズメント施設に生まれ変わっています。

また、オープントップバスで滑走路を走行し間近に離着陸する飛行機を見ることができるツアーを行うなど、魅力的なエアポートとして、賑わいを見せています。

福岡空港を運営する福岡国際空港株式会社（FIAC）は、「エアポートシティ」の実現を掲げ、国際線ターミナルの増築やLCC棟の新設など計画されており、福岡市で進む「天神ビックバン」、
「博多コネクテッド」と共に新しい都市への期待も高まっています。

福岡空港の元々の始まりは、昭和19年に旧日本陸軍が「席田（むしろだ）飛行場」として建設、昭和20年に完成、終戦後は米軍に接收され「板付空港」と呼ばれるようになりました。

元来、板付は旧筑紫郡那珂町の地名でしたが、米軍人にとって「ムシロダ」と発音し難く、隣接する地名の「イタツケ」となったという一説があります。その後昭和45年に日本に移管され、昭和47年（1972年）に福岡空港として開港しました。

（現在も空港敷地の一部は米軍地となっている）

福岡空港は市街中心部に位置し利便性の高い空港で知られ、国内でも屈指の過密な離発着を誇り、ピーク時には数分で航空機の離発着が繰り返されています。現在は2,800mの滑走路1本で運用されていますが、2024年の完成を目指し、国際線ターミナル側に2,500mの増設滑走路の工事が進められています。



旅客機が街の上空を飛ぶ風景
（天神西通り）



福岡空港名物
離発着機の数珠つなぎ

2025年には2本の滑走路で供用が開始される予定です。これにより許容発着数は1.5倍程度になると予想されています。しかし、国内・国際線共に新路線の就航便も見込まれ、「混雑空港」であることは変わらないものと思われます。

この2本の並行滑走路の運用により、航空機の滑走路へのアプローチも見直されるようです。

福岡空港の滑走路の方向は16/34であり、通常16側(北側)から着陸、34側(南側)への離陸で運用されています。(興味のある方は調べてください)

通常航空機は風を受けて飛行しますが、福岡空港においては多少の追い風でも都市部を低空で飛行することを避けるためこの方向での運用が優先されています。



大宰府側へ離陸直後の旅客機
(宇美町井野山山頂より)

2025年予定の2本の滑走路運用により効率良く航空機の離発着を行えるとし、現在は強風時や悪天候時に限られている34側(南側)からのアプローチに変更され、久留米市上空からの進入も積極的に導入される計画です。

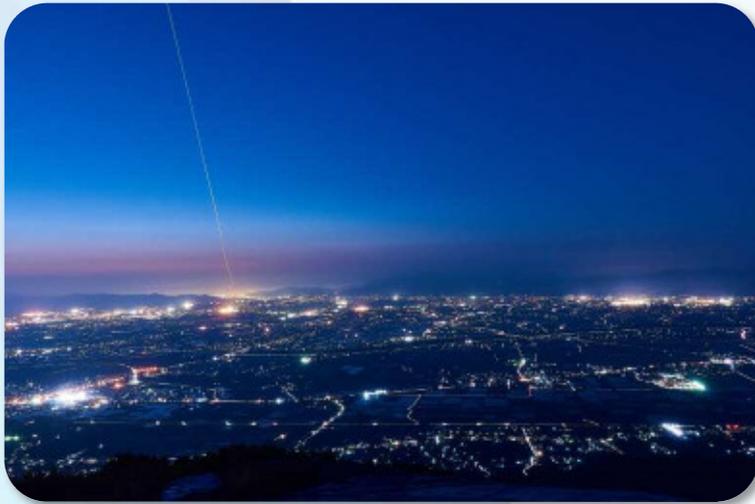
都市部に位置する空港として、空港周辺の街は航空法の規制を受け、建築物の高さの制限や騒音対策など都市計画にも影響を与えています。福岡空港の大改革は、空港と共にある「エアシティ」として周辺都市の街づくりや建築にも、新たなかたちと風景をつくることとなるかも知れません。



南側からアプローチする旅客機
(宇美町井野山山頂より)



現在の国際線ターミナル



夜景と航跡
(久留米市グライダー山より)

最後に余談になりますが、航空機が飛ぶ航路にも空路名があります。また空路には道路で言うと交差点のようなポイントが設定されています。福岡空港に着陸する際、国内線はほとんどの場合、東側海上から玄界灘上空で旋回し志賀島上空から降下するルートが通常ですが、この空路のひとつには“NAKASU”と名付けられそのいくつかのポイントには“KIRIN” “MALTS” “YEBISU” “LAGER”と名付けられています。

冗談のようですが、福岡航空管制が航空機に指示する空路として正式に使用されています。福岡らしいですね。



監事 江下 素彦 さん

いつの間にか上回っていた

平均健康寿命は72歳であることを、偶然見た「YouTube」で知った。平均寿命ではなく健康寿命が72歳とは知らず、いつの間にか平均を2歳も上回っていることに驚いている。健康でいる秘訣は「食事」「運動」「睡眠」「メンタル」等よく言われているが、調べてみると意外に面白いのがウォーキング。1日1万歩と思っていたのが4500歩で十分だそうだ。

コロナが始まってすぐに大動脈瘤の手術を受け、その原因が高血圧であった為、手術後は1日塩分6gの食生活になってしまった。6gの食生活はなかなか大変であり、ある先生のアドバイスの結果、朝食・昼食はわずかの量（無塩）ですませ夕食は好きなものを食べる生活になった。さらに血糖値を下げるために夕食後30分以内に「ウォーキング」を開始した。テレビ番組で見た「3分を早歩き、4分の並歩き」を4セット繰り返して、1週間早歩きの合計が50分になるように1年余り続けてきた。時々、遠征をして博多の旧市街の寺町や人がいなくなった中州なども歩いたし、時間をかえて日中に歩くで見慣れた町のなかに思いがけず様々なおもしろい発見をする事ができた。

「ウォーキング」の効果は

- ①気分が良くなりエネルギーがわいてくる
- ②頭がクリアになる、想像力が高まる
- ③血糖値を下げる
- ④免疫機能が高まる
- ⑤メンタルが強くなる。

といいことづくしだ。このウォーキングが健康寿命に良いことだと知りびっくりしている。早足3分のウォーキングは日常の生活の一部として日ごろから注意しておけばいつでもできるし、運動を続けていくのが苦手な私には最高の習慣だと思っている。。

■究極の歩き方`五つのポイント`

- ①ややはやく歩く
- ②まっすぐ前を見て歩く
- ③背筋を伸ばして歩く
- ④肩の力を抜き、ひじを後ろに引くことを意識して歩く
- ⑤かかとから着地して親指の付け根で蹴るように歩く



さらに健康寿命について調べていたら和田秀樹医師の著書「70歳が老化の分かれ道」を見つけた。その中で健康寿命を延ばす一番の方法が「生涯現役」～何事においても「引退」しない～という記述を見つけてうれしくなった。

この年齢で早く引退したいと思っていた時期もあったのですが、これからもウォーキングを続けて、いつまでも現役の気持ちを忘れず、社会にすこしでも役に立ていけるような自分であり続けたいと思っています。

